
新潟市犯罪被害者等支援に関する調査

(集計レポート)

調査時期：2023年2月1日～2月14日

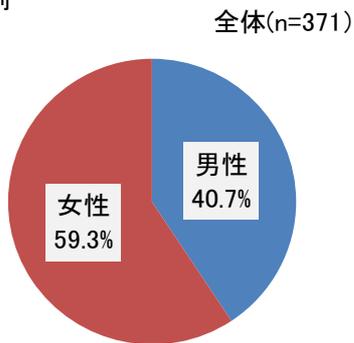
調査方法：インターネット調査

回答者：20代～70代以上の新潟市在住者

回答数：371人

回答者の構成

■ 性別



■ 年代

■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70歳以上

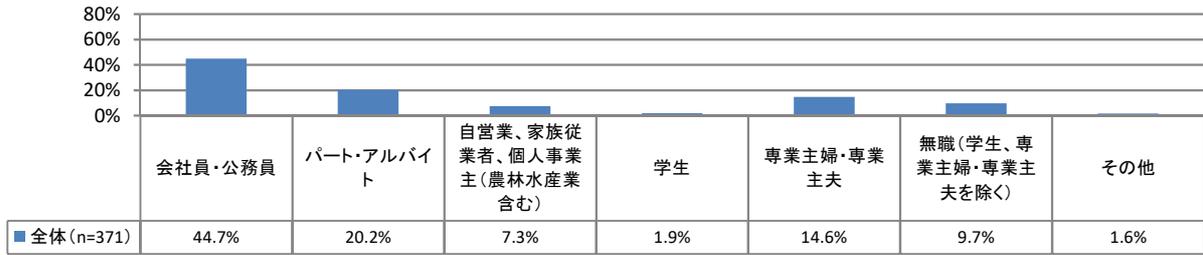


回答数	n	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
全体	371	47	58	69	101	79	17
男性	151	24	24	23	37	35	8
女性	220	23	34	46	64	44	9

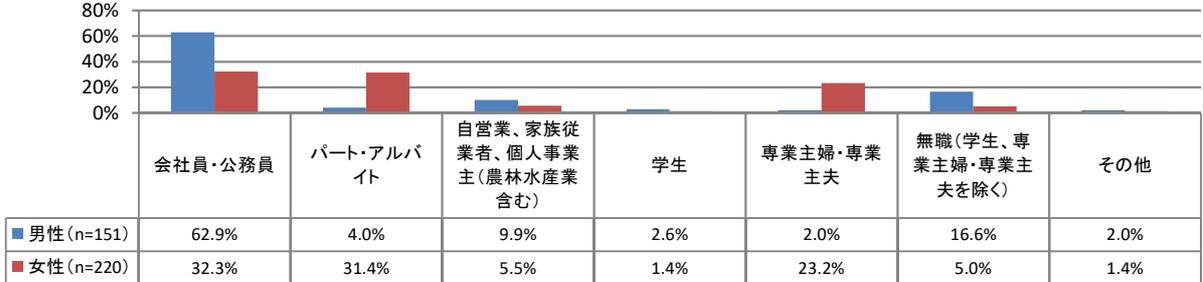
割合	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
全体(n=371)	12.7%	15.6%	18.6%	27.2%	21.3%	4.6%
男性(n=151)	15.9%	15.9%	15.2%	24.5%	23.2%	5.3%
女性(n=220)	10.5%	15.5%	20.9%	29.1%	20.0%	4.1%

職業等

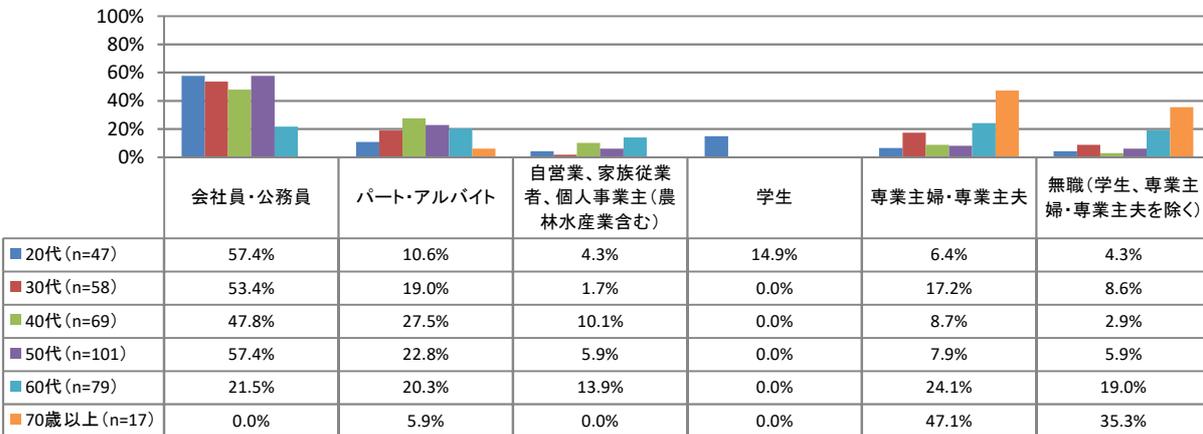
■全体



■性別



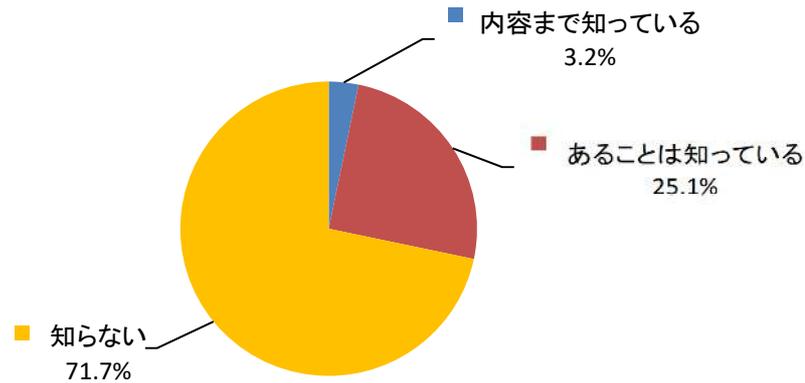
■年代別



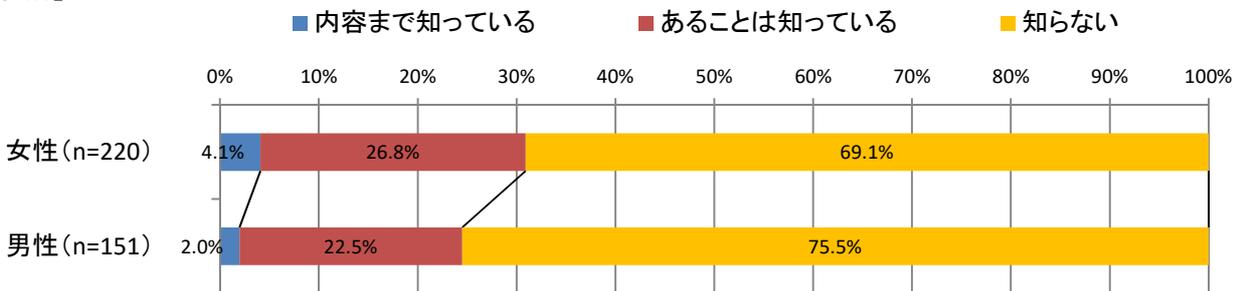
回答数	n	会社員・公務員	パート・アルバイト	自営業、家族従業者、個人事業主(農林水産業含む)	学生	専業主婦・専業主夫	無職(学生、専業主婦・専業主夫を除く)	その他
全体	371	166	75	27	7	54	36	6
男性	151	95	6	15	4	3	25	3
女性	220	71	69	12	3	51	11	3
20代	47	27	5	2	7	3	2	1
30代	58	31	11	1	0	10	5	0
40代	69	33	19	7	0	6	2	2
50代	101	58	23	6	0	8	6	0
60代	79	17	16	11	0	19	15	1
70歳以上	17	0	1	0	0	8	6	2
割合		会社員・公務員	パート・アルバイト	自営業、家族従業者、個人事業主(農林水産業含む)	学生	専業主婦・専業主夫	無職(学生、専業主婦・専業主夫を除く)	その他
全体(n=371)		44.7%	20.2%	7.3%	1.9%	14.6%	9.7%	1.6%
男性(n=151)		62.9%	4.0%	9.9%	2.6%	2.0%	16.6%	2.0%
女性(n=220)		32.3%	31.4%	5.5%	1.4%	23.2%	5.0%	1.4%
20代(n=47)		57.4%	10.6%	4.3%	14.9%	6.4%	4.3%	2.1%
30代(n=58)		53.4%	19.0%	1.7%	0.0%	17.2%	8.6%	0.0%
40代(n=69)		47.8%	27.5%	10.1%	0.0%	8.7%	2.9%	2.9%
50代(n=101)		57.4%	22.8%	5.9%	0.0%	7.9%	5.9%	0.0%
60代(n=79)		21.5%	20.3%	13.9%	0.0%	24.1%	19.0%	1.3%
70歳以上(n=17)		0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	47.1%	35.3%	11.8%

問1:新潟市犯罪被害者等支援条例について知っていますか。

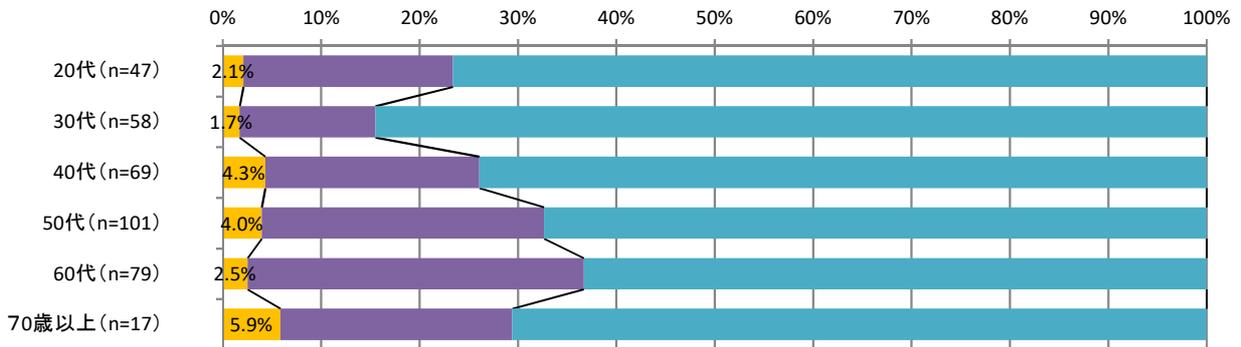
全体(n=371)



【性別】



【年代別】

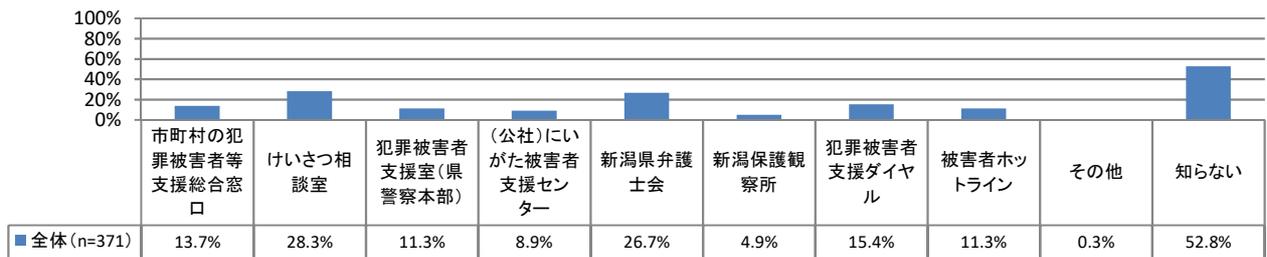


回答数	n	内容まで知っている	あることは知っている	知らない
全体	371	12	93	266
女性	220	9	59	152
男性	151	3	34	114
20代	47	1	10	36
30代	58	1	8	49
40代	69	3	15	51
50代	101	4	29	68
60代	79	2	27	50
70歳以上	17	1	4	12

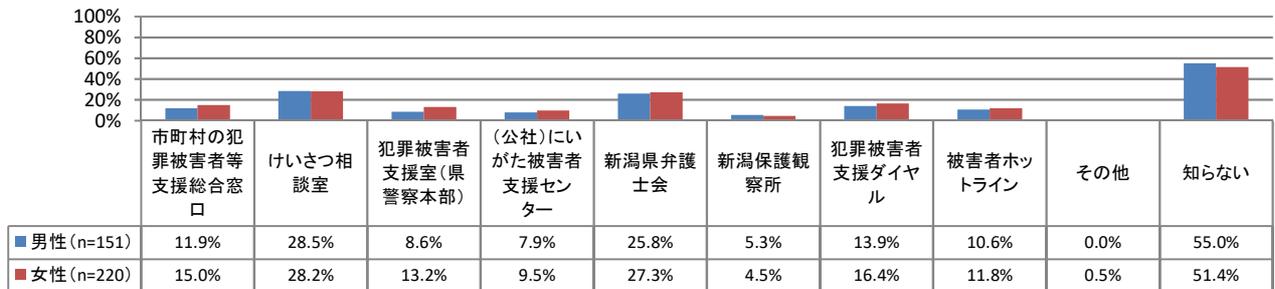
割合	内容まで知っている	あることは知っている	知らない
全体(n=371)	3.2%	25.1%	71.7%
女性(n=220)	4.1%	26.8%	69.1%
男性(n=151)	2.0%	22.5%	75.5%
20代(n=47)	2.1%	21.3%	76.6%
30代(n=58)	1.7%	13.8%	84.5%
40代(n=69)	4.3%	21.7%	73.9%
50代(n=101)	4.0%	28.7%	67.3%
60代(n=79)	2.5%	34.2%	63.3%
70歳以上(n=17)	5.9%	23.5%	70.6%

問2: 犯罪被害者及びその家族または遺族(以下犯罪被害者等)のための相談窓口について知っているものをお選びください。(複数回答可)

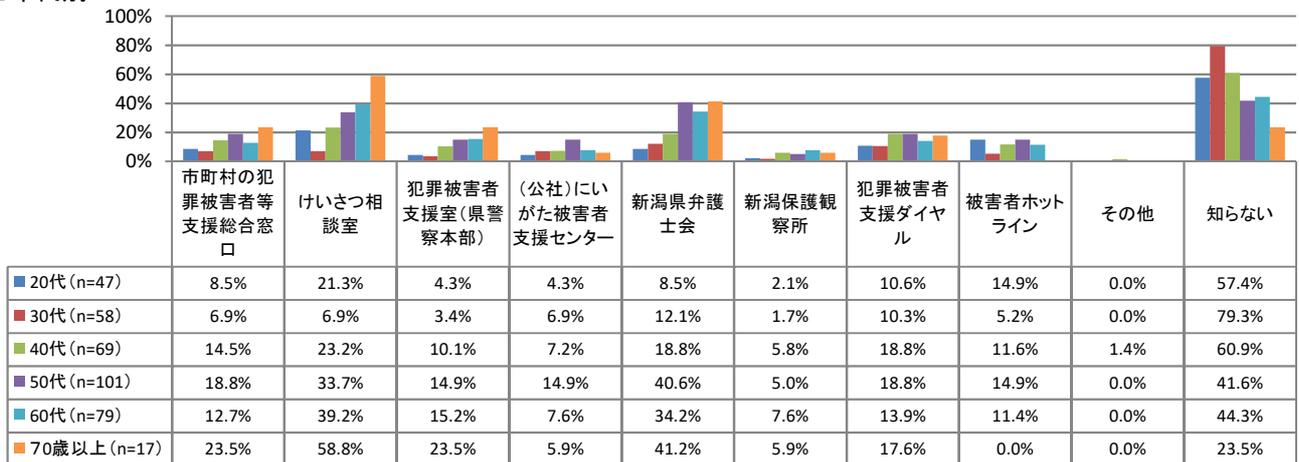
■全体



■性別



■年代別



回答数	n	市町村の犯罪被害者等支援総合窓口	けいさつ相談室	犯罪被害者支援室(県警察本部)	(公社)にいがた被害者支援センター	新潟県弁護士会	新潟保護観察所	犯罪被害者支援ダイヤル	被害者ホットライン	その他	知らない
全体	371	51	105	42	33	99	18	57	42	1	196
男性	151	18	43	13	12	39	8	21	16	0	83
女性	220	33	62	29	21	60	10	36	26	1	113
20代	47	4	10	2	2	4	1	5	7	0	27
30代	58	4	4	2	4	7	1	6	3	0	46
40代	69	10	16	7	5	13	4	13	8	1	42
50代	101	19	34	15	15	41	5	19	15	0	42
60代	79	10	31	12	6	27	6	11	9	0	35
70歳以上	17	4	10	4	1	7	1	3	0	0	4

割合	市町村の犯罪被害者等支援総合窓口	けいさつ相談室	犯罪被害者支援室(県警察本部)	(公社)にいがた被害者支援センター	新潟県弁護士会	新潟保護観察所	犯罪被害者支援ダイヤル	被害者ホットライン	その他	知らない
全体 (n=371)	13.7%	28.3%	11.3%	8.9%	26.7%	4.9%	15.4%	11.3%	0.3%	52.8%
男性 (n=151)	11.9%	28.5%	8.6%	7.9%	25.8%	5.3%	13.9%	10.6%	0.0%	55.0%
女性 (n=220)	15.0%	28.2%	13.2%	9.5%	27.3%	4.5%	16.4%	11.8%	0.5%	51.4%
20代 (n=47)	8.5%	21.3%	4.3%	4.3%	8.5%	2.1%	10.6%	14.9%	0.0%	57.4%
30代 (n=58)	6.9%	6.9%	3.4%	6.9%	12.1%	1.7%	10.3%	5.2%	0.0%	79.3%
40代 (n=69)	14.5%	23.2%	10.1%	7.2%	18.8%	5.8%	18.8%	11.6%	1.4%	60.9%
50代 (n=101)	18.8%	33.7%	14.9%	14.9%	40.6%	5.0%	18.8%	14.9%	0.0%	41.6%
60代 (n=79)	12.7%	39.2%	15.2%	7.6%	34.2%	7.6%	13.9%	11.4%	0.0%	44.3%
70歳以上 (n=17)	23.5%	58.8%	23.5%	5.9%	41.2%	5.9%	17.6%	0.0%	0.0%	23.5%

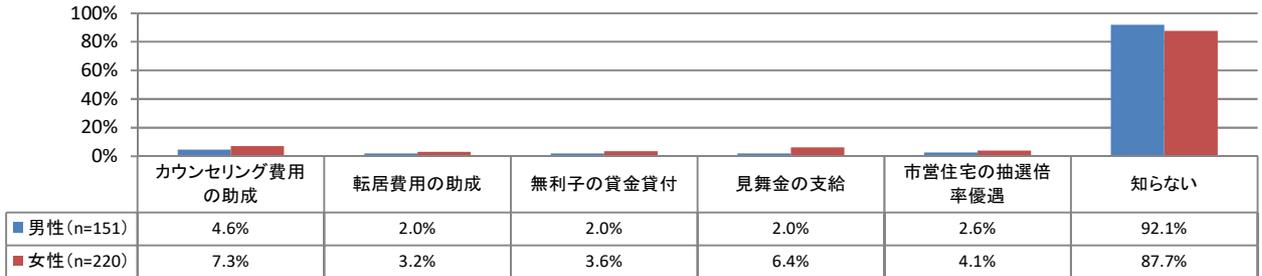
※「犯罪被害者支援ダイヤル」の実際の画面表示は「犯罪被害者支援ダイヤル(日本司法支援センター[法テラス])」

問3:新潟市の犯罪被害者等支援施策について知っているものをお選びください。(複数回答可)

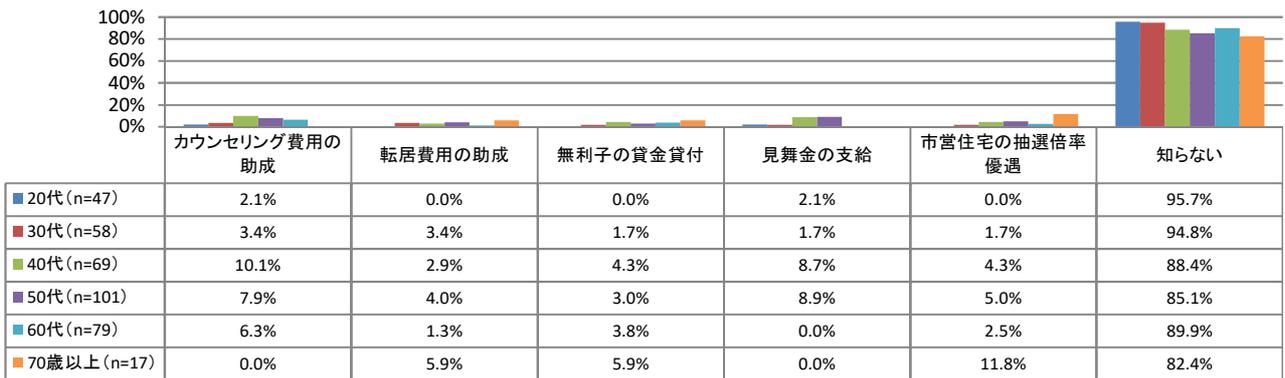
■全体



■性別



■年代別

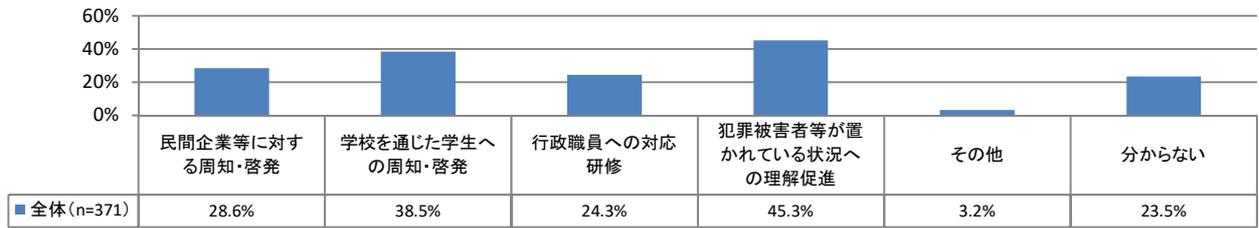


回答数	n	カウンセリング費用の助成	転居費用の助成	無利子の貸金貸付	見舞金の支給	市営住宅の抽選倍率優遇	知らない
全体	371	23	10	11	17	13	332
男性	151	7	3	3	3	4	139
女性	220	16	7	8	14	9	193
20代	47	1	0	0	1	0	45
30代	58	2	2	1	1	1	55
40代	69	7	2	3	6	3	61
50代	101	8	4	3	9	5	86
60代	79	5	1	3	0	2	71
70歳以上	17	0	1	1	0	2	14

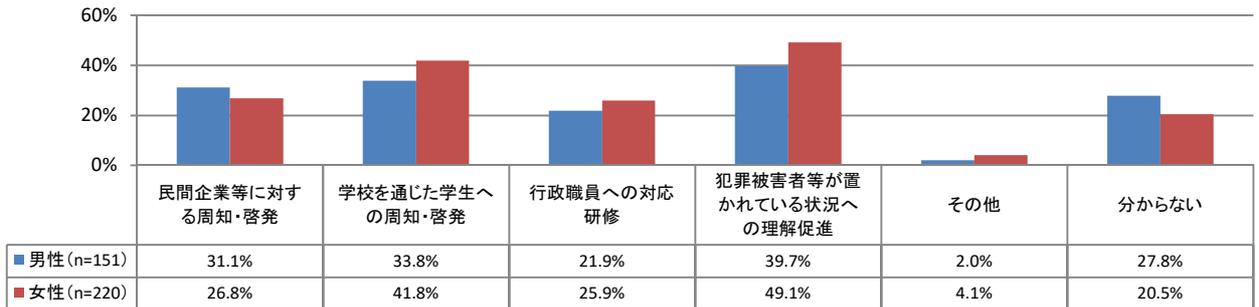
割合	カウンセリング費用の助成	転居費用の助成	無利子の貸金貸付	見舞金の支給	市営住宅の抽選倍率優遇	知らない
全体 (n=371)	6.2%	2.7%	3.0%	4.6%	3.5%	89.5%
男性 (n=151)	4.6%	2.0%	2.0%	2.0%	2.6%	92.1%
女性 (n=220)	7.3%	3.2%	3.6%	6.4%	4.1%	87.7%
20代 (n=47)	2.1%	0.0%	0.0%	2.1%	0.0%	95.7%
30代 (n=58)	3.4%	3.4%	1.7%	1.7%	1.7%	94.8%
40代 (n=69)	10.1%	2.9%	4.3%	8.7%	4.3%	88.4%
50代 (n=101)	7.9%	4.0%	3.0%	8.9%	5.0%	85.1%
60代 (n=79)	6.3%	1.3%	3.8%	0.0%	2.5%	89.9%
70歳以上 (n=17)	0.0%	5.9%	5.9%	0.0%	11.8%	82.4%

問4：犯罪被害者等の方が直接的な犯罪被害を受けた後に、他者からの無理解や配慮に欠ける言動などによる精神的苦痛、経済的な損失などを受けることを二次的被害といいます。二次的被害を防止するためには、どのような取り組みを行うとよいと思いますか。（最大2つまで）

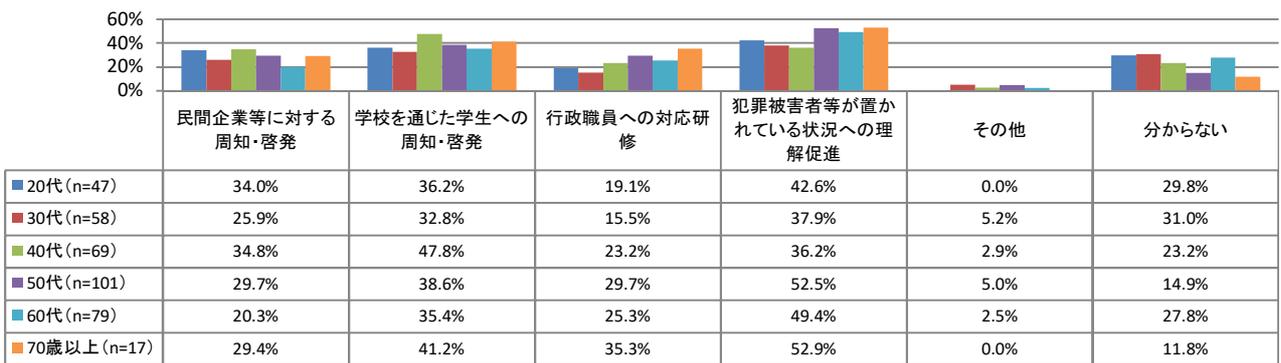
■全体



■性別



■年代別

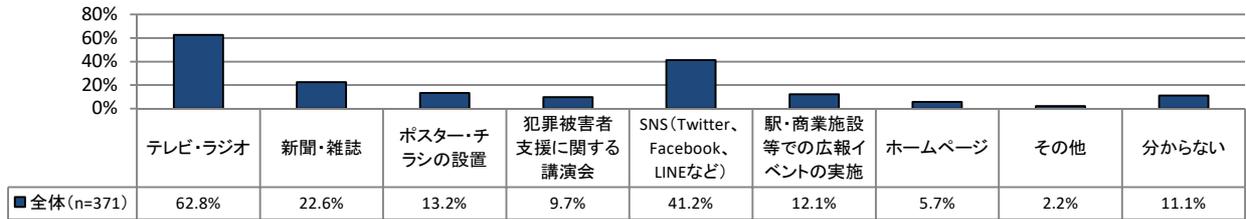


回答数	n	民間企業等に対する周知・啓発	学校を通じた学生への周知・啓発	行政職員への対応研修	犯罪被害者等が置かれている状況への理解促進	その他	分からない
全体	371	106	143	90	168	12	87
男性	151	47	51	33	60	3	42
女性	220	59	92	57	108	9	45
20代	47	16	17	9	20	0	14
30代	58	15	19	9	22	3	18
40代	69	24	33	16	25	2	16
50代	101	30	39	30	53	5	15
60代	79	16	28	20	39	2	22
70歳以上	17	5	7	6	9	0	2

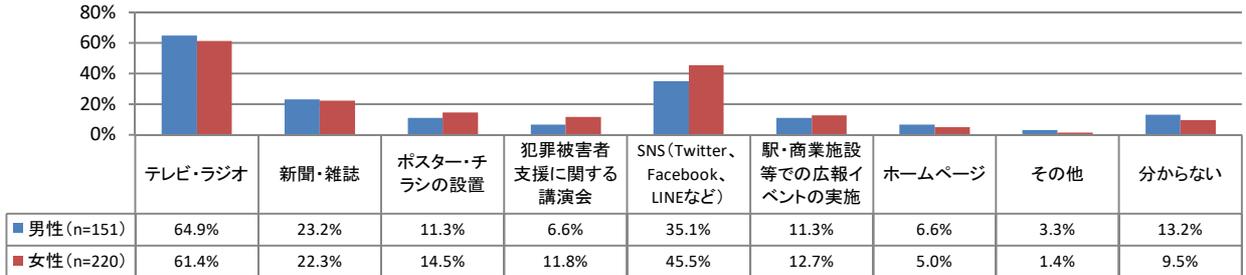
割合	民間企業等に対する周知・啓発	学校を通じた学生への周知・啓発	行政職員への対応研修	犯罪被害者等が置かれている状況への理解促進	その他	分からない
全体 (n=371)	28.6%	38.5%	24.3%	45.3%	3.2%	23.5%
男性 (n=151)	31.1%	33.8%	21.9%	39.7%	2.0%	27.8%
女性 (n=220)	26.8%	41.8%	25.9%	49.1%	4.1%	20.5%
20代 (n=47)	34.0%	36.2%	19.1%	42.6%	0.0%	29.8%
30代 (n=58)	25.9%	32.8%	15.5%	37.9%	5.2%	31.0%
40代 (n=69)	34.8%	47.8%	23.2%	36.2%	2.9%	23.2%
50代 (n=101)	29.7%	38.6%	29.7%	52.5%	5.0%	14.9%
60代 (n=79)	20.3%	35.4%	25.3%	49.4%	2.5%	27.8%
70歳以上 (n=17)	29.4%	41.2%	35.3%	52.9%	0.0%	11.8%

問5：新潟市で犯罪被害者等への理解促進や支援策の周知について、どのような広報に取り組むとよいと思われるか。(最大2つまで)

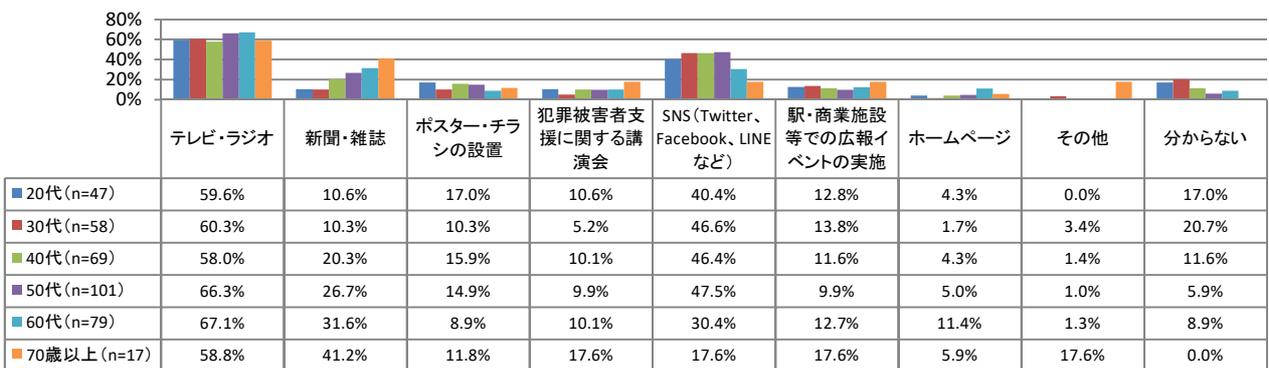
■全体



■性別



■年代別

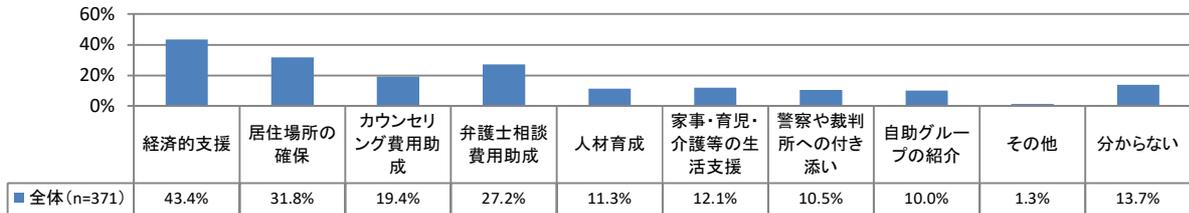


回答数	n	テレビ・ラジオ	新聞・雑誌	ポスター・チラシの設置	犯罪被害者支援に関する講演会	SNS(Twitter、Facebook、LINEなど)	駅・商業施設等での広報イベントの実施	ホームページ	その他	分からない
全体	371	233	84	49	36	153	45	21	8	41
男性	151	98	35	17	10	53	17	10	5	20
女性	220	135	49	32	26	100	28	11	3	21
20代	47	28	5	8	5	19	6	2	0	8
30代	58	35	6	6	3	27	8	1	2	12
40代	69	40	14	11	7	32	8	3	1	8
50代	101	67	27	15	10	48	10	5	1	6
60代	79	53	25	7	8	24	10	9	1	7
70歳以上	17	10	7	2	3	3	3	1	3	0

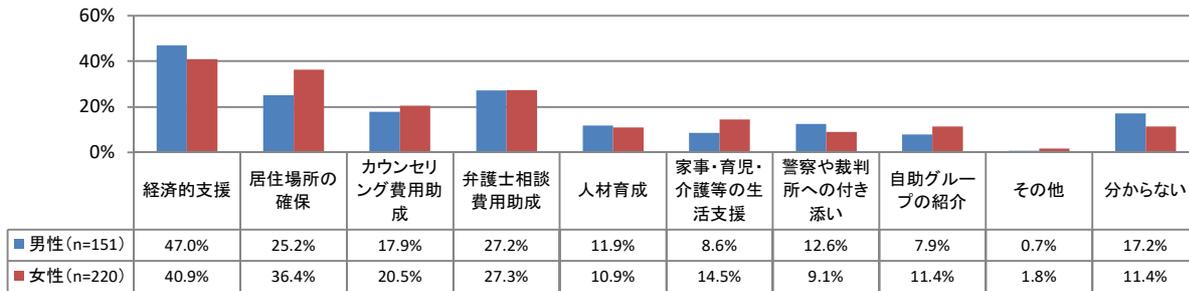
割合	テレビ・ラジオ	新聞・雑誌	ポスター・チラシの設置	犯罪被害者支援に関する講演会	SNS(Twitter、Facebook、LINEなど)	駅・商業施設等での広報イベントの実施	ホームページ	その他	分からない
全体(n=371)	62.8%	22.6%	13.2%	9.7%	41.2%	12.1%	5.7%	2.2%	11.1%
男性(n=151)	64.9%	23.2%	11.3%	6.6%	35.1%	11.3%	6.6%	3.3%	13.2%
女性(n=220)	61.4%	22.3%	14.5%	11.8%	45.5%	12.7%	5.0%	1.4%	9.5%
20代(n=47)	59.6%	10.6%	17.0%	10.6%	40.4%	12.8%	4.3%	0.0%	17.0%
30代(n=58)	60.3%	10.3%	10.3%	5.2%	46.6%	13.8%	1.7%	3.4%	20.7%
40代(n=69)	58.0%	20.3%	15.9%	10.1%	46.4%	11.6%	4.3%	1.4%	11.6%
50代(n=101)	66.3%	26.7%	14.9%	9.9%	47.5%	9.9%	5.0%	1.0%	5.9%
60代(n=79)	67.1%	31.6%	8.9%	10.1%	30.4%	12.7%	11.4%	1.3%	8.9%
70歳以上(n=17)	58.8%	41.2%	11.8%	17.6%	17.6%	17.6%	5.9%	17.6%	0.0%

問6：新潟市の犯罪被害者等支援施策において、今後どのようなことに取り組むべきだと思いますか。（最大2つまで）

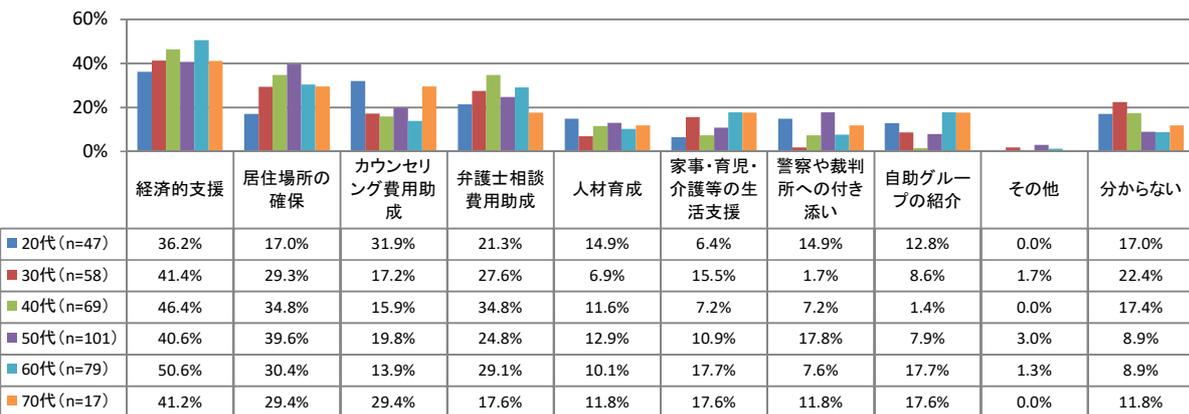
■全体



■性別



■年代別



回答数	n	経済的支援	居住場所の確保	カウンセリング費用助成	弁護士相談費用助成	人材育成	家事・育児・介護等の生活支援	警察や裁判所への付き添い	自助グループの紹介	その他	分からない
全体	371	161	118	72	101	42	45	39	37	5	51
男性	151	71	38	27	41	18	13	19	12	1	26
女性	220	90	80	45	60	24	32	20	25	4	25
20代	47	17	8	15	10	7	3	7	6	0	8
30代	58	24	17	10	16	4	9	1	5	1	13
40代	69	32	24	11	24	8	5	5	1	0	12
50代	101	41	40	20	25	13	11	18	8	3	9
60代	79	40	24	11	23	8	14	6	14	1	7
70代	17	7	5	5	3	2	3	2	3	0	2

割合	経済的支援	居住場所の確保	カウンセリング費用助成	弁護士相談費用助成	人材育成	家事・育児・介護等の生活支援	警察や裁判所への付き添い	自助グループの紹介	その他	分からない
全体(n=371)	43.4%	31.8%	19.4%	27.2%	11.3%	12.1%	10.5%	10.0%	1.3%	13.7%
男性(n=151)	47.0%	25.2%	17.9%	27.2%	11.9%	8.6%	12.6%	7.9%	0.7%	17.2%
女性(n=220)	40.9%	36.4%	20.5%	27.3%	10.9%	14.5%	9.1%	11.4%	1.8%	11.4%
20代(n=47)	36.2%	17.0%	31.9%	21.3%	14.9%	6.4%	14.9%	12.8%	0.0%	17.0%
30代(n=58)	41.4%	29.3%	17.2%	27.6%	6.9%	15.5%	1.7%	8.6%	1.7%	22.4%
40代(n=69)	46.4%	34.8%	15.9%	34.8%	11.6%	7.2%	7.2%	1.4%	0.0%	17.4%
50代(n=101)	40.6%	39.6%	19.8%	24.8%	12.9%	10.9%	17.8%	7.9%	3.0%	8.9%
60代(n=79)	50.6%	30.4%	13.9%	29.1%	10.1%	17.7%	7.6%	17.7%	1.3%	8.9%
70代(n=17)	41.2%	29.4%	29.4%	17.6%	11.8%	17.6%	11.8%	17.6%	0.0%	11.8%

問7 その他、ご意見がございましたらお聞かせください。 ※任意

性別	年代	意見
男性	20代	犯罪が一つで勝れば幸いです
女性	30代	被害者のケアも大切ですが、加害者に刑事責任能力が無いと判断されると、とてもやるせない気持ちになります。加害者にも自分がやってしまった過ちを理解してもらえるようにしてほしいです。
女性	40代	各家庭にチラシの配布やポスターやらホームページなどの周知を広げ、誰にも話せず相談出来ず困ってる人が一人でも減るようにしてほしい
女性	40代	一般企業は心無い言葉を吐く人がとても多いです。犯罪被害者だけでなく、傷つき精神的に病んでいく人も多いため、大人の意識改革しないといけないと思います。
男性	40代	新潟市が自分から動けばよい
女性	60代	良くわからない
男性	60代	今ひとつ周知されていない感がある。行政の怠慢かな？
男性	60代	税金の負担は最小限に！
女性	30代	存在を知りませんでした。自分が被害者になった場合を考えると、知らなかったことに恐ろしさを感じます。どうか大々的に存在、そして特に内容をTV、ネットニュース等で誰の目にも留まるようアピールして頂きたいです。
男性	30代	1人でも多くの方に犯罪被害者について自分事として捉えてもらわなければ、いくら支援があっても意味がない。知ってもらうことよりも、起こってほしくはないが他人事ではなく誰かがなりうる事であることの自覚を促さねばならない。メディアを巻き込んで、報道のあり方や報道の見極め方なども学ぶことが重要。インターネットやSNSの普及で関係のない一般人が、何気ない無意識の行動で追い詰めることもある事を若い世代に認識させることも重要。可能であれば実際の犯罪被害者の方からの講演会を開催することも影響力は最大かと。
女性	40代	どの様な犯罪かによっても支援の仕方は違うと思うので、そのケースに合った対応と支援を考えていただけたらと思う。私自身は自死遺族ですが犯罪被害者になった事がないので、どの様なケースがあるのかと、犯罪被害者の方が困っている時の相談先などをテレビやSNSなどでアナウンスしたり、学校などで資料を配布して説明し、お家に帰ってお家の方とお話ししてみてね。と伝えていただき親子で自分や周りの人が困った時の事を考えるきっかけになると思う。
女性	40代	対応している相談窓口のスタッフさんの態度やことばひとつで、相談に来た人は「あ、せっかく相談に来たのに来なければよかった。」と感じることがあると思う。同じことを聞かれてたらい回しにされた挙句、「ここでは対応できません」とか。担当者同士の申し送りがされてないとか。支援する側は、相談に来た人達がとてもしんどい状況の中で、勇気を持って頑張って相談しに来たんだと、頭の隅にでもいいので意識して相談に来た人の支えになってほしい。あと、被害者の人たち（家族も含めて）の支えになる人たちの心理的ストレスも多くなると思うので、その対策もしてほしいです。支える側がしんどいと、助けが必要な人を支えてあげられません。
女性	40代	バスや電車の中での痴漢もきちんと性犯罪として受け取って欲しいです。
女性	40代	心の殺人もあります。目に見えませんが、立派な犯罪です。周知をお願いします。被害者の安全確保等、徹底して頂きたいです。加害者は犯罪意識がありません。
女性	40代	私達家族は当時13歳の青年に鍵を盗まれ、家に入られて娘の下着等を盗まれました。娘は外に出る事ができなくなり、1人で留守番をする事もできなくなり、私達の生活は一変しました。しかし、行政は私達被害者の支援はしてくれず、加害者の更生にばかり力を入れていました。犯罪を犯しているのに、13歳というだけで、こんなにも加害者が守られるなんて。被害者の私達は助けてもらえず傷つき続けるなんて。行政なんてこんなものかと落胆させられました。少年法の改訂を求めます。13歳ならしてはいけないことくらい分かるはずですが。罪を償うべき年齢です。犯罪被害者支援というものを作ったのならば、被害者が納得できるものにしていって下さい。

性別	年代	意見
女性	40代	被害者の立場に立たされるまで関心を持たないことが問題だと思います。誰にでも起こりうることで日頃から知っておくことが、二次被害を防ぐのではないのでしょうか。
女性	40代	確か、随分昔からだろうと思うけど又もや段々、現在も引き続きこう言う世の中な訳有りつつも本当の事実上何だかんだ汎ゆる面でも多数の新潟市内の犯罪被害者等支援についてだが、一刻も早目に対策案も練り直して貰いたい一心なので何卒どうか宜しく願い申し上げます。
男性	40代	知らないことが多いので、周知が必要かと感じます
女性	50代	被害者は守られるべきだと思います。個人情報流出等に細心の注意が必要です。心身共に健康でいられるよう、サポートがあれば、いいと思います。
女性	50代	先ず犯罪をなくす事
女性	50代	非常にデリケートな問題だと思うが、日本自体世界と比べると本当に遅れていると思う。色々な職種や人たちが研修や講習を受けスキルアップすべきだと思う。縦割りだけでなく横繋がりをし、連携できるようにして欲しいと思います。民間やボランティアも含め充実した組織作りが必要だと思う。私もそのような機会があれば講習を受けて協力したい。
女性	50代	被害者はなかなか声を出せない。家庭内だと夫(または妻)が加害者の場合、本当に地獄。子供が見てる前でも平気でやるし、子供のために間違った考えを持ってしまう。警察との連携がどれも必須で、学校には監視カメラ設置するくらいでないとならない時代だと思う。
女性	50代	二次的被害とは 具体的にどういうものをいうのか、寸劇等わかりやすい具体例で周知して欲しい イラストとか 『かわいそう』という言葉が被害者のご家族に向けて発しない 家庭での言葉は子どもの耳に入っているの
女性	50代	全ての市民の人権尊重。働けなくても安心して暮らせる風土づくり(自己責任にしない)と予算の確保していただきたい。ボランティアや人の善意だけに頼らず、全ての関わりある専門家が支援に当たれるようにする。
女性	50代	犯罪被害者救援については、行政等の支援があることはわかっているが、どこでどのように申請等するかがわからない。当事者にならないとわからないと言うのではなく、いろんな場面でのアナウンスがあったらいいと思う。
女性	50代	犯罪にあわない取り組みの強化も並行して行なってほしいです。
男性	50代	犯罪者を守る法律を改定し、被害者支援、保護を手厚くする法律にならなければ、犯罪は減らないし被害者が後ろめたい気持ちで過ごさなければいけなくなる。現状、今の法律では何をやってもムダ!
男性	50代	ネットやマスコミによる情報漏洩の防止
女性	60代	上記アンケート内容を2つだけ選択することは難しい。全て選択したかった。
女性	60代	どの項目も、窓口の存在について、あるだろうと言った程度の認識。窓口が多く何処へ行ったら対応が早いかわからず、躊躇するのではないか。
女性	60代	被害者の方が、二次的に被害を受けることがないように、みんなで、助け合いたいものです。
女性	60代	犯罪被害者の困り事について考えた事はあまりないが、誰もがなり得ることと思えば、認知症やがんなどと同じように啓発活動をして市民が理解を深める機会を増やすと良いと思う。
男性	60代	私は、犯罪被害者では、有りませんが、子供が、いじめに遭い、息子が引きこもりになってしまいました。学校、市の相談センターと色々な所に、相談に行きましたが、どこも親身に話を聞いてくれる所はなかったですので、こおいうアンケートは、あまり期待してません。話だけではなく、本気で、被害しのことを考えた、政策を取って欲しいです。
男性	60代	これは自治体ではなく国がやる事だと思います。
男性	60代	すみません知りませんでした。今後も発信をお願いします。

性別	年代	意見
男性	60代	今回のアンケートで新潟市が犯罪被害者等支援をしていることを知りました。これからも様々な媒体を利用して広報していただくと助かります。
男性	60代	突然のアンケートなのでうまくまとまりませんが、プライバシーの問題や経済的支援。精神的フォローが最低限必要なのでしょうか。
男性	60代	心のケアや経済的支援の拡充
男性	60代	このアンケートを通じてこのような内容は良くわからないにしても、あることを自覚する機会になりました
女性	70歳以上	専門部門を作り相談しやすくする
男性	70歳以上	知識がなくアンケートに答えるのに迷った。機会があれば話を聞いてみたいと思った。講演会などを企画してもらいたいと思う。
男性	70歳以上	今まで、犯罪被害者がどの位の人が被っているのか実態がわからず全く関心がありませんでした。これ機会に考えてみます。
男性	70歳以上	新潟市犯罪被害者等支援について始めて知りました。

※「特になし」等を除く意見。回答者が入力したままの内容で掲載している。

その他の回答内容

職業等

性別	年代	その他の内容
女性	40代	フリーランス
男性	20代	利用者
女性	40代	団体職員
女性	60代	障がい年金受給者
男性	70歳以上	シルバー人材センター
男性	70歳以上	年金生活者

問4: 犯罪被害者等の方が直接的な犯罪被害を受けた後に、他者からの無理解や配慮に欠ける言動などによる精神的苦痛、経済的な損失などを受けることを二次的被害といいます。二次的被害を防止するためには、どのような取り組みを行うとよいと思いますか。(最大2つまで)

性別	年代	その他の内容
男性	30代	訴訟費用等の支援
女性	40代	配偶者暴力相談支援センター

問4: 犯罪被害者等の方が直接的な犯罪被害を受けた後に、他者からの無理解や配慮に欠ける言動などによる精神的苦痛、経済的な損失などを受けることを二次的被害といいます。二次的被害を防止するためには、どのような取り組みを行うとよいと思いますか。(最大2つまで)

性別	年代	その他の内容
女性	30代	犯罪者には人権は主張され、被害の人権が無視されていると第三者（私）に感じさせることがそもそも問題
男性	30代	弁護士や担当関連機関による現場の声を交えた学校等教育機関、職場における講習、市民ディベート会の開催。
女性	40代	市民に対する啓発セミナー
女性	40代	一時的でも、避難できる場所の確保。二次被害をおわせた者への刑罰、実名公表
女性	50代	人間教育
女性	50代	SNSを利用した啓発
女性	50代	行政が市民の人権を守る覚悟と必要な予算付け。
女性	50代	マスコミなど報道機関の過剰な対応を禁止すること
男性	50代	SNSの取締り
女性	60代	個人情報の拡散を防ぐ
女性	60代	TV、ラジオ、SNSなどメディア通じた周知・啓発
男性	30代	訴訟費用等の支援